

福祉・介護

冬休みレスパイト事業

場 身体障害者デイサービスセンターたんぽぽ、くすのき園、つくし作業所

内 冬休み期間中、身体障害や知的障害のある子どもに日常生活訓練を提供するとともに、介護者が休養するための事業です。

利用日数 5日以内

※申込多数の場合、希望に沿えないことがあります。

対 市内在住の①特別支援学校・学級の中学部や高等部に在籍する知的障害児・者、身体障害児・者、②特別支援学校小学部の第4～6学年または小学校の特別支援学級4～6年生の重症心身障害児、重度重複障害児など

※施設により対象者は異なります。

※身体障害者デイサービスセンターたんぽぽは医療的ケアが必要な人も利用できず（医師の指示書が必要）。

¥ 1日57円、給食費などの実費

申 11月8日(金)までに、刈谷市地域生活支援事業受給者証（お持ちの人）を持参し、福祉総務課へ。

※12月上旬に利用決定の連絡をします。

※送迎・入浴サービスはありません。

※各施設で担当者による面接や事前実習が必要になる場合があります。

問 福祉総務課（☎62・1208）

ID 1003667

認知症介護家族交流会

時 11月20日(水) 13時30分～15時30分

場 社会教育センター

内 介護負担の軽減、安定した在宅生活を送るための家族同士の情報交換や相談

対 認知症の人を介護している家族

¥ 100円

問 長寿課（☎62・1063）

車いす体験塾 まちの思いやりみつ隊

時 11月23日(土) 9時30分～13時30分（各3時間）

※雨天中止

場 市民ボランティア活動センターほか

内 車いすに乗って街を巡り、福祉的な視点や周りの人などに自然に配慮できる心を養う体験とワークショップを開催します。

講 久田李菜氏（自立生活センターアフレル）

対 市内在学の小学4年～中学生
定 各10人

※申込多数の場合は抽選し、結果は全員に連絡します。

申 11月11日(月)までに、QRまたは直接、社会福祉協議会事業推進課へ。



問 社会福祉協議会事業推進課（☎62・6676）



つながりを大切にした 地域づくり講演会・ シンポジウム

時 11月29日(金) 13時30分～16時（30分前受付）

場 心身障害者福祉会館

内 障害の有無にかかわらず地域の一員としてつながり支え合う地域づくりを考えます。

講 守本陽一氏（ケアと暮らしの編集社）

定 60人（先着順）

申 11月5日(火)から、QRまたは電話（24・7017）で障害者支援センターへ。



認知症サポーター ステップアップ講座

時 12月5日(木) 10時～12時

場 社会教育センター

内 養成講座から一歩踏み込んだ内容を学び、地域で活動するサポーターを目指します。

対 市内在住、在勤または在学中で、養成講座を受講したことがある人

講 富安斉氏（医師）

定 60人（先着順）

申 11月1日(金)から15日(金)までに、氏名（フリガナ）、郵便番号・住所、電話番号をQRまたは直接、長寿課へ。



問 長寿課（☎62・1063）



高次脳機能障害者支援の ための研修会

時 12月8日(日) 13時30分～15時30分（30分前受付）

場 市民ボランティア活動センター

内 失語症について当事者の

体験談を聞き、意思疎通支援を学びます。

講 諸岡雅美氏・小林由衣氏（言語聴覚士）

定 50人（先着順）

申 11月5日(火)から30日(土)までに、氏名、電話番号、職種（医療・福祉関係者）を電話・FAX（21・7140）またはEメール（n27meku@catv.jp）で高次脳機能障害者・家族を支援する会「サークル虹」藤井へ。

問 健康推進課（☎23・9559）

健康・医療

11月10日～16日はアルコール関連問題啓発週間

アルコールの多量摂取や未成年・妊婦の飲酒などの不適切な飲酒は、健康障害、アルコール依存症、さらには暴力や虐待、飲酒運転による交通事故、うつや自殺などのリスクを高める危険性があります。アルコールに関する悩みの相談窓口では、本人だけでなく、家族からの相談も受け付けています。

相談窓口 ▼衣浦東部保健所

こころの健康推進グループ（☎21・9337）▼健康推進課

（☎23・9559）▼NPO法人

刈谷断酒会 角谷（☎080・5295・5019）

問 健康推進課（☎23・9559）